

余呉地域づくりだより

令和2年度特集号

〈発行日〉令和2年7月15日
 〈発行〉余呉地域づくり協議会
 余呉まちづくりセンター（協議会事務局）
 滋賀県長浜市余呉町中之郷1117番地1（余呉まちづくりセンター内）
 TEL.0749-86-8126 FAX.0749-86-2236
 E-mail: yogochikyou@live.jp
 余呉文化ホール
 滋賀県長浜市余呉町中之郷2434番地
 TEL.0749-86-8107 FAX.0749-86-0194
 E-mail: yogochikyou@live.jp
 余呉湖観光館事務所
 滋賀県長浜市余呉町下余呉1938番地
 TEL.0749-86-8037 FAX.0749-86-8047
 E-mail: yogo-kankokan@zb.ztv.ne.jp



まちづくりセンター全景

ご挨拶

会長 是洞 尚武

日頃は地域づくり協議会の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨秋念願のまちづくりセンターがオープンしました。このセンターは余呉地域の中心で、交流や活動などの情報発信、憩いの場として地域活動を活性化すコミュニケーション機能として期待しています。ところが、形勢が一変し、世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい大変な事態となりました。自粛や制限等余儀なくされ、当協議会の諸活動や運営面においてもその影響で苦慮しているところ

です。一日も早い収束で事態の打開を切望しているところで

す。昨年、滋賀大から長浜市地域人口推計調査分析（市内二十七連合自治会）の報告が出されました。それによりますと、他の地域も同様ですがどんどん人口が減少して二十五年後の二〇四五年には現在の人口三千人が二千人程となり、長浜市内で何カ所か挙げられている人口減、高齢化が加速するグループになっています。

このことから地域への影響として、自治会活動、伝統行事等のイベント活動、地域農業等の担い手不足や高齢者・障がい者の健康維持見守り、買い物・通院等の移動手段の確保、空き家、耕作放棄地の増加、その他にも様々な地域課題が挙げられます。

これらの事柄にどう向き合っていけばよいのか。仕方ないと諦めてはほとんど地域が衰退、疲弊していきま

す。活動に携わる団体や組織の一部の限られた人だけでなく、より多くの人が共有して取り組んでいければと考えます。

我が町は古くから開かれたことから歴史や文化そして豊かな

自然に優れた良さがあります。それを誇りにして伸ばしていきたいものです。

是非、皆さまの地域づくり協議会活動への積極的なご参加をお願いいたします。

令和2年度定期総会を 書面決議により承認

例年であれば四月初旬を目途に定期総会を開催し、会員各位の審議を図るところでありましたが、今年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、各種イベント等諸行事を始め会合等も中止され、通常通り定期総会を開催するのは困難となり、一堂に会しての開催はできませんでした。特に今年度は、役員改選等重要な案件がありました。各種事業報告・決算及び新年度事業計画・予算等いずれも原案通り書面決議により承認となりました。また、昨年オープンし、十月に供用開始となりました余呉まちづくりセンターを始めとする長浜市より公共施設の「指定管理」の施設管理もひとつ増え、新年度のスタートをきるこ

ととなりました。兼ねてから余呉地域の念願でありました「余呉まちづくりセンター」が完成し、令和元年十一月一日から供用開始となりました。このセンターは整備計画の基



振る舞い餅つき

余呉まちづくりセンター
がオープンしました

も踏まえ、余呉地域のまちづくりの拠点施設であるとともにこのセンターに対する地域住民の期待度が大なることを改めて認識しているところです。

地域の皆様に気軽に立ち寄っていただける憩いの場として多くの方にご利用いただけるよう運営を図っていきます。



セレモニーくす玉開き

余呉まちづくりセンターに生活相談窓口設置

近年、人口の減少や少子高齢化により地域のコミュニティ機能が低下し、地域の方々が日々の困りごとを気軽に相談できる場所、機会が減りつつあります。

こうした中、令和二年一月より余呉まちづくりセンターに「生活相談窓口」の機能を設置することとなりました。

市社会福祉協議会をはじめ地

域の福祉団体等と連携しながら身近な困りごとを気軽に相談して、地域の中で少しでも解決に繋がれる体制を整える体制を整え安心して暮らせるまちづくりを進めます。



令和元年度各部会の活動報告と令和二年度の活動計画について

地域づくり協議会の活動は五つの部会で構成され、部会ごとに余呉のまちづくり事業に向けて、それぞれ創意工夫により活動を展開しています。

各部会における昨年の活動状況と今年度計画しております主な活動内容についてお知らせします。

是非、地域の皆様の積極的なご参加とご協力をお願い致します。



健康福祉部会

部会長 城楽 元一

令和元年度の活動

◆特定健診の受診率向上推進

受診率の目標を四五%とし、チラシや告知放送で、健診を呼びかけ、健康相談会への参加動員等を行いました。

◆健康相談会の開催

八月七日、健診結果と塩分摂取量調査結果に基づき、個別に相談を受けました。

また、血圧測定、肺の汚染度調査、食事指導会、さらには湖北病院スタッフによる健康チェック会も同時に開催しました。(参加者六十名)

◆健康講演会の開催

十月一日「地域に開かれた親しまれる湖北病院を目指して」をテーマに、湖北病院院長の納谷佳男先生のお話を傾けました。当日は、まちづくりセンター供用開始日であり、内覧を兼ねて出席がありました。(参加者五十名)

また、竣工を記念して「看護出前講座」を年四回開催しましたが、大変好評でした。(参加者合計九十七名)

◆減塩活動の推進

塩分濃度計を健康福祉部会で常備し、自治会等地域の催しもの際に活用しました。

◆協賛事業

余呉老人クラブ連盟のウォーキング、更生保護女性会の講演会、余呉福祉の会の防災研修等の支援も出来ました。



R2.8.6 健康相談会

令和二年度の活動計画

コロナウイルス感染拡大予防の関係で、当初の計画を大幅に変更することになりましたが、健康維持活動として、今年度も特定健診の受診率向上を推進いたします。検診日は九月三十日、十二月二十二日です。また、健康相談会については塩分摂取量調査等と併せて実施します。

なお、健康講演会、看護出前講座、命のバトン、福祉懇談会等も関係団体等と連携して取り組み、健康福祉部会の広がりを図っていきたく考えています。



R2.10.1 健康講演会

生活安全部会

部会長 鈴木 春之

生活安全部会では「心とらぐ安全と安心のまちづくり」を目指し取り組んでいます。

令和元年度の活動

◆景観維持づくり事業

五月十一日(土) 町内各自治会に花苗とプランター及び培養土の配布を行いました。

◆環境美化推進事業

五月二十五日(土) 下余呉から中之郷地先までの国道三六五号線の歩道の草刈り清掃作業を実施しました。

◆安全安心なまちづくり事業

十月十五日(火) 町内の各自治会に呼びかけ、高齢者を中心に特殊詐欺防止と交通安全及び火災警報器についての講習会を開催しました。

七月五日(金)・十一月十八(月) 余呉駅前において交通安全

全啓発活動を行いました。

◆環境保全事業

七月、十一月、三月（計三回）所属構成団体支援として町内自治会を対象として廃食油の回収に協力しました。



交通安全駅前啓発

令和二年度の活動計画

◆景観維持づくり事業

本年五月九日（土）町内各自治会へ花苗とプランター及び培養土の配布を行いました。

◆環境美化推進事業

六月七日（土）下余呉から中之郷間の国道三六五号線の歩道の草刈り清掃を両自治会のご協力により実施しました。

◆安全安心なまちづくり事業

九月八日（火）特殊詐欺防止と交通安全及び火災警報器についての講習会を予定しています。

十一月六日（金）余呉駅前において、通勤通学者と送迎の運転者に対し安全運転の呼びかけを行っています。

◆環境保全事業

七月十五日（水）・十一月十八日（水）・三月十七日（水）構成団体の支援として廃食油の回収を町内自治会を対象に予定しています。ご協力よろしくお願ひします。



R365草刈清掃活動

教育・文化・スポーツ部会

部会長 三國 晃

令和元年度の活動

◆菅山寺歴史散策ウォーキング

五月十九日（日）地元の保存会の方にガイドをお願いして実施しました。新緑のさわやかな風が心地よく山頂の静寂はとても神秘的でした。坂口の弘善館・積善館も拝観させて頂き、感動しました。（参加十九名）

◆出前落語演芸会

今年度も、恒例となっております。桂 文也師匠を招いて余呉まちづくりセンターのオープニングイベントのこけら落とし

として、楽しく盛り上げて頂きました。



出前落語演芸会(まちセンオープニング)

◆はごろもフェスティバル

地域づくり協議会が中心となり十月から供用開始となった余呉まちづくりセンターを主に作品展示会場として開催しているよう当部会としても協力しました。

◆余呉湖健康マラソン

十月六日（日）天候にも恵まれ、第四十回余呉湖健康マラソン記念大会が開催されました。当日は一二五〇名のランナーの皆さんが完走されました。参加されたランナーの方には、地元の方を始め、沢山の方の応援に感激され、喜んでいただけました。

令和二年度の活動計画

今年度、当初からコロナウィルス拡散防止の為、計画しておりました歴史散策ウォーキング・余呉姫里子ども交流会・余

呉湖健康マラソンにつきましては残念ながら、中止の決定をされております。

出前落語演芸会・はごろもフェスティバル、町民運動会（新規事業）は、これからの情勢を見極めながら部会で検討を重ね、支援を行っていきたいと思っております。融和で、明るく、健康な、余呉となるよう皆さんの参画よろしくお願ひ致します。



余呉湖健康マラソン

産業観光部会

部会長 前川 和彦

令和元年度の活動

昨年度の活動は、令和元年度の事業計画に則って余呉町の観光の拠点である余呉湖と妙理の里の整備を中心に行いました。

妙理の里では、地元自治会やNPO法人ウオームアップススクールここからさんの協力を得て、草刈りや枯れた紅葉の処理を実

施し、余呉湖ではサワオグルマ群生地の草刈り、あじさい園の整備、賤ヶ岳登山道の整備等を行いました。

イベントへの協力としましては、余呉湖桜対策事業や余呉湖健康マラソンへの協力、赤紫蘇やそば・えごまのPR、ジビエのPRを行う「ええもん探検ツアー」への協力を行ってまいりました。

また、余呉町内で活動されている飲食店十二店舗を記載した飲食店マップを作成し観光客及び余呉町へのPRを実施いたしました。



飲食店マップ

令和二年度の活動計画

本年度につきましても妙理の里と余呉湖を中心に環境整備を行ってまいります。

また、イベントや物産のPR

につきましても例年通り協力してまいりますが、新型コロナウイルス関係で各種イベントの中止や人を集めた環境整備ができない懸念もあります。そこで、令和二年度の主な事業といたしまして余呉町の観光マップの制作と昨年に続き飲食店マップの制作をおこない余呉町のPRに努めたいと考えています。また、産業観光部会員の増強に向けた取り組みも実施いたします。



昨年の遊歩道管理

自治部会(余呉連合自治会) 令和元年度の活動

部会長 長澤 信幸

余呉連合自治会は十九の単位自治会で構成されています。

余呉地域においては、少子高齢化の加速が伴う中、自治会運営そのものが危ぶまれている状況です。

こういった中で、それぞれの自治会が抱える課題等について意見交換を行い、単位自治会が

抱える課題を「地域課題」とし、複数の自治会が抱える課題を余呉連合自治会の「共通課題」として課題解決に向けて長浜市に対する提言や要望等の活動を行いました。

また、六月二十二日、二十三日小型車両系建設機械講習会の実施をし、各自自治会より二十四名の受講がありました。



小型建設機械講習会

令和二年度の活動計画 ◆空き家対策利活用の促進に向けて

全国的に少子高齢化の一つの要因として「空き家」の発生が著しくなり年々増加の一途を辿り、その対策が課題となっています。

私たちの地域でも例外ではなく、現状は放置された状態のものがあり、有害獣の棲み処や雑木の繁茂により環境の悪化が懸念されます。

余呉連合自治会では、各自治

会を対象に昨年、空き家利活用促進等の実態調査を実施しました。それに基づき、今年度は課題解決に向けて研修会や行政出前講座等を開催し、関係機関と連携し対応を図っていきます。



自治部会長会議11月

余呉地域づくり協議会 協働事業等の取り組み

長浜おためし ワークステイ

長浜市に移住定住を希望される方に一定期間、長浜市に滞在してもらい、その期間に地域活動や交流体験などをし、地域の生活や文化、自然などを感じてもらい田舎生活のメリット・デメリットを実際に経験してもらうものです。

今年度から始まる事業で、今年度は主に余呉地域での滞在・体験になります。田舎暮らしや地域振興に関心のある方を余呉地域と繋ぎ、地域コミュニティの活性化が図れるよう取り組んでいきます。



中山間地域農村村 活性化支援事業の取組

私たちの住む中山間地域では、高齢化の進む中で担い手の減少や耕作放棄地の増加等、状況は大きく変化していきます。このような中で収益性の高い農産物等の栽培を実証することにより地域内の農地保全や生産者を支援することで地域の活力の増強を図ることを目指してまいります。

また、特産品の開発や耕作放棄地の有効活用等に取り組みま

す。内容は、獣害対策を始め地域産業の振興として前年まで進めてまいりました赤紫蘇栽培と今年度より新たに根ショウガ、切り花リンドウの栽培等地域自治会との連携により、本協議会の構成団体等の参画の基に生産者と実証事業を展開していきます。



赤紫蘇栽培



切り花リンドウ栽培

地域活力プランナー

集落支援活動について地域づくり協議会では集落支援員として、今年度は二名の地域活力プランナーを配置しています。

主な活動は地域の課題等解決

のための意見交換会の開催やまちづくり事業に向けた取り組みをしていきます。

また、本年は中山間農山村活性化事業の中で根シヨウガや切り花リンドウの栽培支援、魅力ある郷土づくりプロジェクトでは既存茶園の再生、製茶等の作業や研修会等にも積極的に参加します。地域の皆様の日頃の思いやまちづくりに関するご意見等事務局までお寄せください。

余呉・姫里子ども交流事業

今年で三十六年目を迎え、交流事業最後の年でもありましたが、新型コロナウイルスの関係で今年度は中止となりました。次年度、余呉へお迎えし、活動の締め括りしたいと考えておりますので、ぜひご参加・ご協力ください。



昨年の交流交歓会

子ども学び座の開催

地域の子どもの対象としてスポーツ・文化活動や地域住民との交流活動等に取組んでいます。今年はどういうような形で開催できるか検討中ですがまた、学校を通じて案内させていただきますので、ご参加ください。
(対象：余呉小中学校一年生～六年生)



子ども学び座

余呉青少年育成地区民会議

余呉地域の青少年の健全育成の為、あいさつ運動や町内巡回、教育と人権のつどい、委員研修などの活動をしています。昨年は、青少年育成指導団体として、長浜市で「余呉小中学校鏡岡学園生会」、県では「朗読サークルよこ」の両団体を推薦させていただき、表彰されました。

子ども会連合会余呉支部

余呉地域各自治会子ども会の会長で構成されています。余呉支部の活動として、親子で日帰りバス旅行を二十九名の参加で実施しました。今年度の活動内容が決定しましたらご案内させていただきます。



学園生の作文発表

ゆうゆう学級

エスポール講座を開催

学びと生涯学習のまちづくり推進事業の一環として地域住民



昨年の親子バス旅行

の、生きがいづくりや仲間づくりの場として講座を開催しています。毎年、色々なジャンルの講座を開催し、たくさんの申し込みをいただいております。今年度の募集・開催はまだ決定しておりませんが、決まり次第お知らせいたしますので、お気軽にご参加ください。



ゆうゆう学級



エスポール教室

放課後児童クラブの

支援について

就労等の理由により、共働き家庭等の小学生を対象に放課後



放課後児童クラブ(読み聞かせ)

の時間帯において適切な遊びや生活の場を提供して子ども達の状況や発達段階を踏まえながら健全な育成を図ることを目的に開設されている放課後児童クラブ(キッズステーション)の支援をしています。
学校や地域等と連携して子どもの育成支援を行うとともにその家庭の子育て支援をすること役割として取り組んでおり、子ども達の安心・安全な環境づくりを進めています。支援をしていく中で、スタッフの確保等、課題解決に向けた取り組みが必要となっています。
特に、運営に携わっていただけるスタッフの方を募集しています。少しでもお手伝いをしていただける方がありましたらキッズステーション事務局までご連絡ください。

過疎地域での買物支援と 高齢者等の見守り活動

移動販売「すいげんのさとカ
エル号」の巡回販売は運行以来
八年目になります。

昨年、「地域の安心見守り活
動」とし、長浜市と協定を締結
し、過疎化のすすむ余呉町でカ
エル号の担う役割として、買い
物支援に加え子どもの買い物体
験の場、また警察と協力しながら
防犯の啓発活動も大切な業務
となってきました。これからも
ご相談等気楽に何でもお声かけ
ください。



巡回販売・見守り支援



カエル号・防犯啓発活動

耕作放棄地対策・獣害に 強い作物と特産品の振興

今年度からは、根ショウガ・
切り花リンドウの獣害に強い振
興作物として関係団体と連携し、
生産者への栽培支援の取り組み
を進めていきます。

赤紫蘇栽培事業では、緑化施
設の「生きがい農園」の温室を
活用して、昨年度から種からの
育成栽培に取り組んでいます。
七月には若狭の梅産地へ出荷す
る計画です。



根ショウガ・種割り作業

余呉湖周辺の環境保全活動

余呉湖周辺の自然環境保全活
動として山野草（サワオグル
マ）群生地での保存活動を行っ
ています。

今年も四〜五月にかけて一面に

黄色い花が咲きました。
余呉の魅力発信の一つとして
多くの来訪者に春の自然を満喫
して頂きました。



サワオグルマ保全

◆アジサイの復活プロジェ クト活動

地域の有志の方たちとともに、
県担当者から指導を受けあじさ
い園の復活に向けて定期的な見
回りと観察・手入れを行いまし
た。

今年も引き続き、豊かな自然
環境や観光資源を守り育て地域
住民と来訪者の交流の場と活躍
できる場づくりをしていきたい
と考えています。

◆在来茶再生の活動

魅力ある郷土づくりを推進す
る事業として今年度から地域お
こし協力隊や地元と協力し、茶

畑の再生、茶摘みや製茶の体験
を通して次世代へ継承できる資
源を増やす活動を進めていきま
す。



在来茶摘み・製茶（妙理の里）

地域おこし協力隊 活動事業について

平成三十年十月より第二期生
として余呉に住み活動を始めら
れてから半期が過ぎました。

古民家活用に取り組んでいる
隊員は、空き家・古民家に眠る
古い家具などをリメイクして、
新しい作品を生み出したり、ま
た、地元の活動団体の依頼で丸
太イスを作成するなど木工品試
作に取り組まれています。

本年は、おためしワークステ
イ事業にも協力頂きます。是非、
余呉の魅力を伝えて頂きたいと

思います。

林業チーム二名の隊員の方も
森林資源の経済利活用促進、そ
れを利用したい方の支援をする
と共に自らも、資源活用して、
自伐型林業のモデルとなること
を目指して頑張っております。
残りの期間、活動を通して地
域の中に溶け込み、余呉地域の
活性化に寄与されていくものと
期待しています。

編集後記

先の新型コロナウイルスの
世界的な流行により生活の形
さえも変えなければならぬ
状況になっています。当たり
前が、いかに有難いかと感じ
ます。

今回、当協議会のまちづく
り活動をご案内する令和二年
度特集号をお届けします。誌
面にご紹介しておりますが昨
年は、待望の「余呉まちづく
りセンター」が竣工し、当協
議会で管理運営をすることに
なりました。地域の皆さんが
気軽に立ち寄り、また地域コ
ミュニティの活動や交流の拠
点として多くの方にご利用い
ただければと期待します。ご
意見ご要望等ございましたら
事務局までお寄せください。